令和４年１０月

学校関係者評価報告書

１．令和４年度自己評価について

・今年度から従来の教職員に加え、学生とその保護者を対象に加えてアンケートを実施し、教育活動改善に向けた対応を図った。
・教職員の集計内容では、財務の領域において「2.9」の低い評価となったが、職員の認識不足によるものであった。毎年ホームページに財務状況の報告がなされているはずだが、今後一層の職員間の情報共有を図っていく。
・保護者のアンケートは今年度初の試みであったが、アンケートを紙媒体とＱＲコードからの回答形式で行った結果、非常に短期間であったが 100%の回答が得られた。

２．課題への対応

(1)アンケート調査の実施

(2)地域貢献活動の拡大

・今年度は 9/30 に戸沢藩船番所の対岸の清掃活動を行った。移動や作業にも新型コロナウィルス感染対症対策を万全にし、執り行った。今後も継続した取り組みと、更なる活動の拡大を目指す。

(3)魅力あるカリキュラム編成・学生向けアンケートを実施し、課題を抽出する。

・資格取得のための対策がもとめられており、学科ごとに見直しを図る。

(4)長期高度人材育成コース募集課題

・介護、医療に続き、情報システム科の受託にむけた準備を進める中、募集開始から募集締め切りの期間が非常に短い。
・PR 活動として、最上８市町村を対象にチラシ配布。事前説明会開催、新庄市ラインにチラシ投稿。前年度同様に、事前説明会を実施し、PR 活動する予定。

２．意見交換

・5 年かけて、やっと教職員、学生、保護者向けアンケートを実施することができた。
・アンケートシートの作成において、教職員への環境を配慮するような質問項目がない。特にウィズコロナでの、先生方の様々な学生対応での精神的なストレスに配慮した質問などがあってもよかった。
・保護者の記述に、地元に専門学校があることのＰＲが必要。身近な地元の魅力を、

その魅力を知らない子供達へ、明るく活発なＰＲはないか？学生の自由な書き込みができる SNS を設けるなどの工夫はいかがか？
・市の自由参加の高齢者サロンなどにも SCC として、デジタル推進で参加してもらい、もちろん学生の参加なども。高齢者向けスマホ操作のレッスンとか。
・各市町村に向けたスマホ講座（総務省事業）の企画提案が不採択となった。

以　上